



横浜市立釜利谷東小学校

1 月 号

# 学校便り

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817 令和4年1月7日

ひがしの願い

ひとつの命  
がんばる心

しんじあう仲間

## 新年あけましておめでとうございます

校長 皆川 誠

皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えになったことと存じ上げます。皆様にとって良い年になりますようお祈り申し上げます。

昨年のことになりますが、11月29、30日に、5年生と愛川宿泊体験学習へ行ってきました。4年生の時の野島宿泊体験学習が新型コロナの感染拡大により中止になってしまったので、5年生にとっては、初めての宿泊行事となりました。そのため、出発の時には、子どもたちは期待に胸弾ませているといった感じでした。

往きも帰りも道路渋滞は全くなく、どちらも予定より40分も早く着いたほどです。この2日間には、レインボープラザでの藍染め体験、ふれあいの村でのディスクゴルフや、キャンプファイヤー、クラフトなどの活動、そして、相模川ふれあい科学館の見学をしました。どの活動にも仲良く興味をもって取り組む姿が見られました。

こうした中で、最も印象に残ったことは、掃除の場面です。2日目の朝、自分たちの部屋の掃除が終わると、ホールや階段、玄関なども進んで掃除をしていたからです。また、スプーンやフォークのクラフトの活動が早く終わった人たちは、モップや箒を使って木くずを集めている姿を見ました。作業が終わったら、言われなくても片付けや掃除をするという態度は、全校児童のお手本となる姿で、6年生にも負けない立派な姿でした。

12月15日には、「見守り感謝の会」を行いました。見守り活動でお世話になっている各地域の代表の方をお招きし、児童が作った寄せ書きをプレゼントして感謝の気持ちを伝えました。ご出席いただいた方々には子どもたちの気持ちが届いたようで、喜んでいただきました。地域の代表の方々からは、「挨拶してくれる子が増えましたね。中には、頭を下げて、丁寧な挨拶をしていく子もいます。」というお話を伺いました。学校だけでなく、地域の中でも気持ちの伝わる挨拶が増えていることが分かり、「横浜一挨拶の上手な学校」にまた一步近づいていることを実感しました。私にとっても、嬉しい「見守り感謝の会」となりました。

今年2022年は「寅年」です。そこで、「寅年」の過去の出来事を調べてみました。

1974年は、「巨人軍は永遠に不滅です」の言葉が今でも心に残る長嶋茂雄選手が引退した年です。1998年には、横浜高校の松坂大輔選手が、夏の甲子園決勝でノーヒットノーランを達成しました。そして、12年前の寅年は、世相を表す漢字に「暑」が選ばれたほど、猛暑や厳しい残暑により熱中症にかかる人が多発したそうです。

今年は、どのような一年になるのでしょうか。「オミクロン株」という新たな脅威が出現し、新型コロナの新規感染者数は増加の傾向を示しており、心配は尽きません。一日も早く制約のない日常生活に戻ってほしいと願っています。

今年度の授業日数は、残すところ1～5年生は52日、6年生は48日となりました。新年度に向けて、確実な歩みを進めて参ります。保護者の皆様並びに地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、本年もよろしくお願い申し上げます。